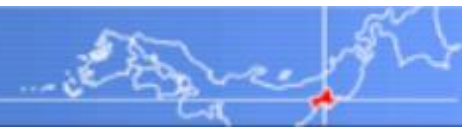


第 1 回懇話会の振り返り

令和 5 年 3 月 2 4 日

第 2 回首都圏アンテナショップ在り方検討懇話会



1 物産振興施策全般

構成員からの意見

- 財政的な制約があることを踏まえて議論すべき。
- 食品製造事業者が疲弊している原因は、場所や販売手法（リアルかデジタルか）の問題ではなく、売れる仕組みが無いこと、又はこれまであった売れる仕組みが過去のものになっていることにあるのではないか。
- 誰にとって・どのような時間軸（短期的又は長期的）で「効果的・効率的な施策」であるのかを意識することが大事。
- 効果測定指標を考える必要がある。



2 リアルとデジタル

構成員からの意見

- リアルとデジタルどちらにもそれぞれメリットがある。
- 2者択一ではなく、リアルとデジタルで相乗効果が出せるのではないか。
- 1度リアルで購入していただいたお客様が、2度目はECによるリピート買いをするケースが見られる。
- デジタルは個別事業者へ還元できる情報が多く、企業戦略を検討するきっかけになる。
- 県内でも、70代、80代の高齢者の方がECで購入されるケースもある。



リアルとデジタルのメリット

リアル	デジタル
<ul style="list-style-type: none">・ 実際の商品を手にとることができる・ その場ですぐに手に入れることができる・ 店員による説明を聞くことができる・ 目当ての商品以外の商品が目に入りやすい	<ul style="list-style-type: none">・ スマホでいつでもどこでも購入できる・ 自宅に配達される（持ち帰る手間が不要）・ ユーザーの口コミが豊富・ 趣向にあった商品がおすすめ表示される（データ活用）

どちらにもメリットがあり、双方のメリットをあわせた手法（スーパーの宅配無料サービス、OMO等）もある。

※OMO…Online Merges with Offline（オンラインとオフラインの統合・融合）



3 他県のアンテナショップについて

構成員からの意見

- 新潟県のアンテナショップが銀座へ移転することになった報道があった。議論の経緯が参考になるのではないか。
- 福岡県のアンテナショップが一時休業となっているが、どのようになっているのか。



確認結果

<新潟県>

- 令和4年12月26日に有識者会議の報告書が提出され、令和5年1月25日に花角知事が銀座へのアンテナショップ設置を発表した（令和6年4月末までにオープン予定）。報告書には以下の記載がある（一部抜粋）。

- ・ 情報発信拠点の目的は、拠点の「入館者数」や「売上」の増加を図ることではない。また、Eコマースで「いつでも」「どこでも」地域の物が買える時代にあっては、情報発信拠点に行けば「地域の物が買える」という意味での「従来型のアンテナショップ」は役割を終えている。
- ・ これからの情報発信拠点の位置づけとして、これまでの情報発信拠点の枠に囚われてはいけな。例えば、新潟の人々と首都圏や訪日外国人の人々が「交流するハブ」、県内企業のテストマーケティングや中小企業の「チャレンジの場」、首都圏や海外の動向、嗜好を把握する「マーケティング戦略拠点」等といったコンセプトで設置の検討をすべきである。
- ・ これまでの情報の「発信」だけでなく、入館者・購買者の情報を「収集」し、企業に還元し「分析」することで、企業・自治体の双方で今後のマーケティングに活用できる仕組みづくりを検討すべきである。

令和4年12月新潟県首都圏情報発信拠点あり方検討会議「新潟県の首都圏情報発信拠点について」より

<福岡県>

- 令和5年1月26日に「麴町なだ万 福岡別邸」がオープンした。



4 本県のアンテナショップについて（1）

構成員からの意見

- 仙台育英高校が甲子園で優勝した時に盛り上がった、震災の時に応援需要があった、というように首都圏の象徴、ある意味実家のような役割があり、これは効果的・効率的とは異なる性質のものである。
- 豊島区とのつながりとは、具体的にどのようなものか。



【令和4年度】

豊島区との交流等について

- 宮城ふるさとプラザ開設を契機に、平成17年10月1日に「豊島区と宮城県との相互交流宣言」を交わし、平成27年7月17日には「豊島区と宮城県の相互交流に関する10周年宣言」を交わした。

具体的な交流事業として、豊島区立の小中学校における宮城県産食材のPR及び食育学習の支援や、豊島区内で開催されるイベントにおいて宮城県産品PR販売等を実施。

月日	イベント名	開催場所
4月29日・30日	池袋東口としま商人まつり	中池袋公園
5月19日	農業体験学習会田植え体験	豊島区立千早小学校
7月7日	宮城米料理教室	豊島区立千早小学校
7月22日～24日	東京フラフェスタ in 池袋 2022	池袋西口公園
9月28日	農業体験学習会稲刈り体験	豊島区立千早小学校
10月8日・9日	第55回ふくろ祭り 第23回東京よさこいコンテスト	池袋西口駅前広場ほか豊島区一帯
10月9日・10日	池袋本町としま商人まつり	池袋本町公園
10月22日・23日	第12回大塚商人まつり	JR大塚駅南北駅前広場及び自由通路内
11月7日～9日	第30回豊島区伝統工芸展	IKE・Bizとしま産業振興プラザ
11月20日	染井よしの桜のふる里秋祭り	染井吉野桜記念公園
11月26日・27日	2022すがも商人まつり	江戸六地藏尊 眞性寺境内
11月29日	宮城米給食の日	豊島区立小学校20校、中学校8校
11月29日	食材王国みやぎ給食の日	豊島区立富士見台小学校
11月29日	みやぎ食育学習会	豊島区立富士見台小学校
1月23日～27日	宮城米PRウィーク	豊島区役所4階Caféふれあい



4 本県のアンテナショップについて（2）

構成員からの意見

- 豊島区との関係や立地理由を考える上で、リピーターとなっている来店客が、どこに居住する客層が多いか知ることができないか。

リピーターの客層について

- ポイントカード所有者の居住地については以下のとおり。
 ※ポイントカード会員のうち直近10年で購入履歴がある会員を抽出
 ※N：5,070（うち男性1347人、女性3417人、無回答306）
- 市町村上位10団体について豊島区を中心とした近隣区が上位7位まで占めており、8位～10位は池袋を通るJR・私鉄沿線となっている。

都道府県上位5団体
(単位：人)

東京都	3,735
埼玉県	865
神奈川県	212
千葉県	180
茨城県	19

市町村上位10団体
(単位：人)

東京都豊島区	791
東京都板橋区	525
東京都練馬区	498
東京都北区	361
東京都文京区	209
東京都足立区	168
東京都新宿区	159
埼玉県さいたま市	108
神奈川県横浜市	96
埼玉県所沢市	93

